

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
まきのはら地区

平成24年5月

鹿児島県霧島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見					
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性						
指標1	総合運動公園内容数	人/年	124,943	162,400	152,284	確定	見込み	△	あり	なし	●	●	144,694	H24年3月	△	多目的広場以外の公園内施設の総利用者数が、事後評価時点より大きく減少していることが要因であり、特にパークゴルフ場、ふくふくれあい館、食の交流館の減少が著しい。まきばドーム、ちびっこ広場は大幅に増加した。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標の達成に至らなかったものの、多目的広場とまきばドームの利用者増については評価できる。運動公園内施設全般の利用者増に向けた取り組みを継続的に実施することにより、集客性の改善に努める。
指標2	牧之原中心街の通行人数	人/年	221,188	243,300	133,313	確定	見込み	×	あり	なし	●	●	135,359	H24年2月	△	児童生徒数が従前値算出時と比較して半減していることと、買い物頻度等が低下したことによる影響が大きい。確定値は改善傾向にあるが、これは月平均の買い物・ウォーキング回数が事後評価時点より改善したことが要因である。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標に大きく及ばなかったものの、地域住民の買い物・ウォーキング頻度の改善がみられ、歩きやすい環境づくりに伴う通行者数が増加したことは評価できる。運動公園と連携したにぎわいの創出に係る取り組みを継続的に実施することにより、集客性の向上に努める。
指標3	総合運動公園に対する満足度	%	38	60	36	確定	見込み	×	あり	なし	●	●	31	H24年2月	×	サッカー大会等の利用で市内外の利用者は増加しているが、満足度アンケートの対象としている地区住民の利用が伸び悩んでいることが要因の一つである。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標の達成に至らなかったものの、当公園を利用する方の満足度が43%と不満を感じる方23%を大きく上回っていることから、一定の満足度は得られているものと評価できる。地域住民に対する利用喚起策の強化により満足度の改善を図る。
指標4	市民プールの利用者数	人	0	8,000	1,063	確定	見込み	△	あり	なし	●	●	1,280	H23年10月	△	目標値の設定における1日当たり利用者数の設定が、霧島市他地域に立地するプールの日利用者数の実数と比較して過大であった。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標に大きく及ばなかったものの、利用促進策の展開により、評価値計測年度(H22)の前年度の利用者数(H21年:1,230人/年)まで回復したことは評価できる。利用喚起に係る取り組みを継続的に実施することにより、利用者の増加に努める。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見				
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性					
その他の数値指標1	「運動・スポーツを行いやすい環境」に対する満足度	%	41	48	48	確定	見込み	●	●	●	●	40	H23年6月	△	運動公園の利用頻度が低いこと、事後評価値が過去5年間で突出して高いことが要因であると考えられる。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	アンケート対象である地区住民の運動公園の利用頻度が低いことから、地域住民に対する利用喚起策の強化による満足度の改善を図る。
その他の数値指標2	「日頃の運動・スポーツを全く行っていない」人の割合	%	35	26	26	確定	見込み	●	●	●	●	33	H23年6月	△	運動公園の利用頻度が低いことが要因であると考えられる。一方で、「毎日行っている」、「週に数回程度行っている」の合計が事後評価値時の約24%から4ポイント増加している。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「ほぼ毎日行っている」、「週に数回程度行っている」の合計割合が評価値計測時の24%から確定値計測時の28%にまで増加したことは評価できるが、地域住民に対する利用喚起策の強化により、運動頻度の改善を図る。
その他の数値指標3	パークゴルフ場、まきばドームの利用者数	人/年	26,844	36,764	36,764	確定	見込み	●	●	●	●	37,297	H24年3月	△	まきばドーム利用者数が大幅に増加したことが要因であるが、パークゴルフ場は減少傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まきばドームの利用喚起策が功を奏しているが、パークゴルフ場利用者が減少傾向にあることから、利用喚起に係る取組を継続的に実施することにより、当施設の利用者増に努める。
その他の数値指標4	ふくふくれあい館の来客者数	人/年	81,315	85,533	85,533	確定	見込み	●	●	●	●	78,388	H24年3月	△	利用者が大幅に減少しており、近年においても改善が見られない。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事後評価時点から減少傾向にあることから、観光面での底上げを強化することにより、集客性の向上に努める。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<p>・成果を持続させるために行う方策</p>	集客性の高いスポーツイベントが開催できる環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・県民体育大会(サッカー)、霧島市長杯サッカー大会、九州ゲートボール大会の開催 ・高等学校(テニス)、女子サッカーの合宿誘致 ・小学生のパークゴルフ体験、中学生と養護学校生との交流活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民体育大会の開催により、県内一円に宣伝効果があった。 ・各種スポーツ大会を通じて地域活性化とスポーツ技術の向上につながった。 ・小学生がニュースポーツにふれあうことによる想像力豊かな人間の育成に寄与できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場涼しい気候を活かした、県大会や全国大会の誘致、プロスポーツ合宿等を誘致できる体制、施設の充実 ・近隣の学校だけではなく、遠足や体験学習ができるような競技や施設の拡充 ・スポーツ合宿は好評であったが、宿泊場所が遠く誘致の妨げとなっている。
	牧之原商店街の中心街としての魅力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・まきのほら運動公園の各種スポーツイベントの開催に合わせた、観光イベントや物産展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街やふれあい館(物産館)が事前に大会等に併せて商品を追加したり特産品や季節の商品を増やしている。 ・商工会・地域イベントを誘致し、商店街の特売日に合同でイベントを行い地域活性化に役立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内で、物産品の紹介や商店街の案内等が出来る設備が必要である。
	日頃の運動・スポーツを行いやすい環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・福山地区スポーツ祭の開催 ・福山地区、国分・隼人地区、牛根地区パークゴルフ大会の開催 ・まきばドームにおけるゲートボール大会の開催 ・パークゴルフ場の団体割引、ポイントカード制の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧福山町の住民を対象とし行い、コミュニケーションと健康増進が図られた。 ・30名程度の地域の大会を支援しパークゴルフの普及及び健康増進への寄与した。 ・個人やグループ・団体などの利用増進につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を中心とした支援が多く、もっと若者を対象としたイベント・大会等の支援が課題である。 ・商店街等とタイアップを行い、施設でも利用できる共通のポイントカード等が必要である。
	市民の健康増進への寄与	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場におけるサッカー交流会、サッカー教室の開催 ・パークゴルフ体験講座の開催、健康マイレージ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団チームの交流会を行い、技術指導を行うことにより技術向上につながった。 ・地域住民にニュースポーツを体験していただき施設紹介と健康増進に役立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術向上と健康増進を目的に行ったが、開催時期や回数をもっと増やす必要がある。 ・他のスポーツにおいても指導者を願って教室等を行う必要がある。
	観光レジャーの魅力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道からのパークゴルフツアーの開催 ・観光ツアーのパークゴルフの開催 ・釣り客への市民プールの利用案内の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道のパークゴルフ愛好家を誘致することにより施設紹介を図ることが出来た。 ・地域観光(黒酢ツアー)に組み込むことにより観光とスポーツを体験していただき福山町の宣伝に役立った。 ・福山港釣り客にチラシ等を配布しプールの紹介を行った。しかし、期間を通して周知ができたが、利用者の増加にはつながらなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒酢の観光ツアーで多くの観光客の訪れる地域であるが、施設が観光ルートから外れた場所にあるため、今後は、施設を含めた観光ルートの提案が必要である。
<p>改善策</p> <p>・まちづくりの目標を達成するための改善策</p> <p>・残された課題・新たな課題への対応策</p> <p>・その他 必要な改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の混乱を防ぐための誘導サインを大会イベントに合わせて設置 ・パークゴルフ場(18H)の増設の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・同時開催のイベントや大会においてスムーズに誘導出来た。 ・市民ニーズに対応した既存スポーツ施設の機能拡充の具体化に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会やレクリエーション協会とタイアップし、ニュースポーツの拡充や他スポーツに対する施設の改善等が必要である。 ・利用場所により、移動させる誘導サインであり、固定でないためにイベント、大会等に併せて設置する手間が掛かることが課題である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・まきのほら運動公園と連携のとれた商店街の活性化とアクセス性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・支所前通り線の歩行者空間となっている側溝の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい環境が創出されるとともに、牧之原商店街の魅力の向上にも寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まきのほら運動公園と商店街とのアクセス性のさらなる向上を図る必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まきのほら運動公園と福山地区の観光資源の連携不足に観光面での底上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を中心とした観光ツアー及び観光を中心とした施設利用の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化・伝統(黒酢)・自然・スポーツと一体となり好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを主とした観光の場合は理解があるが、観光を主体とした場合は、なかなか誘致が難しい。 ・スポーツをした後に観光地に行く場合は、更衣室はあるがシャワー等の施設がないことが課題である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
市民ニーズに即したスポーツメニューの拡充強化による地域住民の総合運動公園の利用喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・若者を対象としたスポーツイベント・大会等の開催支援、市民への効果的な周知 ・スポーツ教室等の開催時期・回数の増加、市民への効果的な周知 ・パークゴルフ場の機能拡充 	平成24年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ・まきのほら運動公園施設利用に関する情報提供、利用しやすいしくみづくり
イベント等の開催によるふくふくふれあい館の集客性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・創業祭、収穫体験事業等のイベントの開催・実施 		
集客性の高い施設などからの利用者誘導によるふくふくふれあい館の集客性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・福山地域の観光資源(黒酢)と牧之原地域のスポーツ施設と一体となつた観光マップの作成 ・各種スポーツイベント会場内(多目的広場、まきばドーム等)での特産品の試食会の開催等 ・多目的広場等におけるスポーツイベントの参加者に対する黒酢を利用したスポーツドリンクの開発、試飲会及び販売 	平成24年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催時における利用者のふくふくふれあい館への誘導方法や情報の提供のしくみづくり